

「耐陰性スギ系統による無下刈試験」



写真1 試験区全体（下方より）



写真2 試験区全体（側方より）



写真3 5プロット状況



写真4 6プロット状況

# 技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課 題	33 耐陰性スギ系統による無下刈試験				開 発 期 間	平成10年度～平成20年度			
開 発 箇 所	去川国有林 267ぬ3・ぬ4林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機 関	林木育種センター 九州育種場	技 術 開 発 目 標	3	特 定 区 域 内 外	○
開 発 目 的 (数 値 日 的)	人工被陰施設（寒冷紗）で生育良好な苗木を植栽し無下刈試験林を設定。生育過程等を解明（実証）する。								
年 度 別 実 施 報 告	18年度 実 施 報 告				19年度 実 施 計 画 書				
		実 施 内 容			普 及 指 導				
平成10年度 ①地拵え・植付②調査プロット設定 ③設定時調査（根元径・樹高・枝張り）④試験地標示 平成11年度 ①下刈・無下刈②生長量調査（根元径・樹高・枝張り）③枯損調査 平成12年度～平成15年度 ①下刈・無下刈②つる切③生長量調査（根元径・樹高・枝張り）④枯損調査 平成16年度 ①除伐②つる切③生長量調査 平成17年度 ①生長量調査②試験地管理	1 植付(耐陰性スギ)267ぬ4(2月) 人工数:7,000人 2 つる切 0.27ha 8月 人工数:4,500人 3 生長量調査(樹高・根元径・胸高径)10月 人工数:7,000人 4 試験地管理 5月 人工数:2,625人 5 追加植栽について 隣接する267ぬ4林小班内に、新たに耐陰性スギ24家系209本を追加植栽した。 タブノキ樹下において、無下刈による生長過程を調査することとしている。 6 野兎駆除等(業務費・育林)3月 人工数:1,500人			1 普及活動について 平成18年度国有林野事業業務研究発表会に当試験課題を報告したところ、林野庁長官賞(最優秀賞)を受賞した。耐陰性を活かして下刈回数の削減等を行うことがコスト削減されるとして、高く評価された。また、成果を求めて視察者が増加した。			1 生長量調査(樹高・根元径・胸高径) 2 試験地管理		
技術開発委員会における意見									

「耐陰性スギ系統による無下刈試験」



写真1 1プロット下刈区



写真2 2プロット無下刈・除伐区



写真3 3プロット下刈区



写真4 4プロット無下刈・除伐区

「耐陰性スギ系統による無下刈試験」



写真5 5プロット下刈区



写真6 6プロット無下刈・除伐区

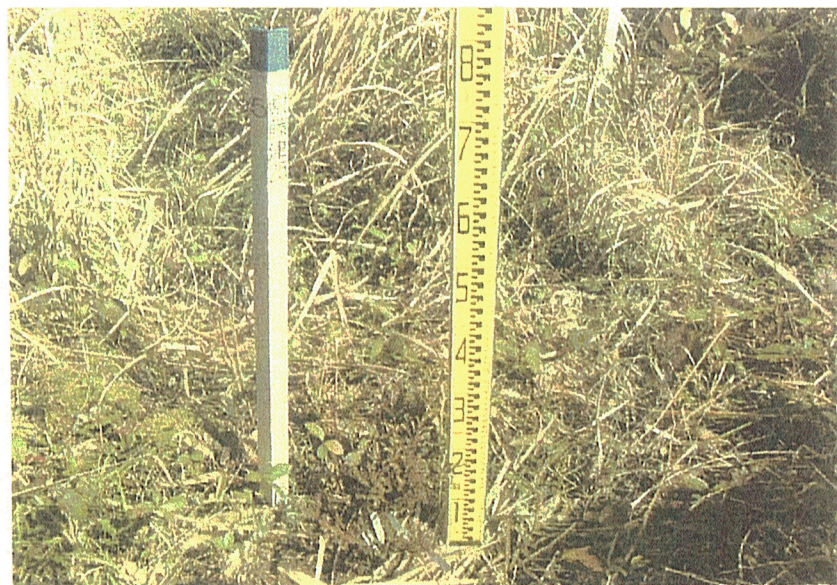


写真7 267ぬ4 植え込み (県藤津25)



写真8 267ぬ4 植え込み状況